

40～50代男性の皆さん 風しんの抗体持っていますか？

あなたが風しんの感染を拡大させてしまう可能性があります

Q なぜ？

A この年代の男性には、過去に公的な予防接種が行われていないため、自分が風しんにかかり、周囲の人たちに広げてしまうおそれがあります。

Q 風しんに感染するとどうなるの？

A 自覚症状が少ないため、気付かないうちに多くの人にうつしてしまう可能性があります。妊娠早期の妊婦さんが風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。

Q では、どうしたら良いの？

A まずは、風しんへの抵抗力を確認するため抗体検査を受けましょう。風しんへの抵抗力が無いことがわかったら、免疫をつけるため、予防接種を受けましょう。

～対象者は抗体検査・予防接種が無料～

抗体検査 (クーポン券、本人確認書類が必要です)
職場での健康診断や近隣の病院・診療所で受けられます。

対象者には令和3年4月
クーポン券を送付しています。

抗体検査の結果をご確認ください。

抗体なし ・風しんへの抵抗力がありません。
・風しんにかかるリスクがあります。

抗体あり ・風しんへの抵抗力があります。

予防接種を受けましょう (クーポン券、本人確認書類、抗体検査結果通知が必要です。)

★ 抗体検査・予防接種を受けられる医療機関等のリストは、厚労省 HP に掲載しております。

風しんとは

風しんは、感染者の飛まつ(唾液のしぶき)などによって他の人にうつる、感染力が強い感染症です。妊娠早期の妊婦が風しんに感染すると、出生児が先天性風しん症候群(眼や耳、心臓に障害が出ること)になる可能性があります。

大人になって感染すると無症状～軽症のことが多いですが、まれに重篤な合併症を併発することがあります。また、無症状でも他人に風しんをうつすことがあるので、感染を拡大させないためには、社会全体が免疫を持つことが重要です。



風しんの追加的対策の詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

風しんの追加的対策 **検索**

【問い合わせ先】

扶桑町保健センター ☎ 0587-93-8300

(平日 8:30～17:15)